

2024年度 東京応化科学技術振興財団 個別報告書 03

開催日時	2024年8月10日(土) 開始時間 10:00 終了時間 11:30								
開催場所	エコパークさがみはら								
実施内容	土の中には何がいるかな								
人数	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	計
		3	13	2	1	2			24
スタッフ	7名	実施機関スタッフ			4名	保護者と幼児が24名付き添い			

1 概要 ;市内の会員の所有する2か所の畑などから土壌を採取し、中に生息する虫(小さいいきもの)を児童に観察させ、身近な土の生態系のなかで分解者の果たす役割について興味・関心を待つことができるようにする。

2 実施内容

進行役が初めに「土の生きものたちの世界をのぞいてみよう!」とするスライドを見せて、土の中の虫で①大人になると地上に出るもの、②土から出たり入ったりするもの③土の中にいるものに分けて、身近にみられる虫を紹介して「知っている」などの反応を引き出した

その他代表的な虫の生態などについて簡単に説明したあと、5班のグループごとにトロ舟の中に用意した畑や畑の塵芥置き場など2か所の土から生き物を観察、採取をさせた。

シャーレに入れて虫メガネ、小型双眼実体顕微鏡などで観察、名前調べ(用意した検索シート、通称 円盤をもとに)スケッチなどをおこなった。

名前を同定できた主な虫(講座では昆虫にだけでなくすべての土中生物を虫とした)

は、ミミズ、甲虫(コウチュウ)、ハサミムシ、カメムシ、コガネムシのなかま、アカダニ、ダンゴムシ、ゴミムシ、などである

後半にはスライドをつかって、土中の分解者、食物連鎖ピラミッド、土壌ができるのに要する年月などについて説明した

最後にNHKなどの短編の動画でマクロ撮影映像を視聴させた。実際に観察したダンゴムシ、ハサミムシなどが出てくると、「あっ、知っている」などと声をあげて反応する子が多くいた。

・児童の感想は「知らない虫をみつけることができたので楽しかった」など学年相応のものだった

3 良かった点、課題点など

- ・子ども達が集中して聞いてくれていて、保護者もうなずいていたので、今後も環境について、家族で思いを共有できることを期待します。(進行役)
- ・進行役や各班につくスタッフの分担と役割についての事前の十分な共通理解が不十分であった
- ・主催者スタッフの十分な補助もあったので事前の90分の準備時間は60分でもよかった

